

キャラクター名

プレイヤー名

紗鶯（さおう）

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	
	ソラリス					
オブショナル			年齢	24くらい（本人に正確な記憶はない）	性別	女
覚醒	無知	衝動	嫌悪		初期侵食率	41%
出自	天涯孤独	経験	親友		邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	20
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	20
精神	2	1	0			3	戦闘移動	25
社会	4	0	0			4	全力移動	50

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			R C	7		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：	2		情報：UGNとは？	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				侵蝕:8 《タブレット+多重生成+活性の霧》
背を押す歌と風		0				侵蝕:7 《エンジェルヴォイス+風の渡し手》
		0				《援護の風Lv5+ウィンドブレスLv3》判定D+5、達成値+9
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲：	0	合計回避：	0
【砂霰之印】		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス消費
		【起源種】	P	N	
		黄蛛	P 敬愛する父	N 不安	
		夜	P 幸福感	N 不安	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	10	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
◇硝子細工	1		常時					
効果：〈白兵・射撃・運転〉いずれか一つ選択。判定D+Lv個・達成値+[Lv*2]。								
先手必勝	5		常時	至近	自身			
効果：【行動値】+[Lv*3（15）]。反映済。								
活性の霧	5	3	セットアップ ^o	至近	単体	自動		
効果：R間、攻撃力+[Lv*3]。対象のドッジD-2。								
限界突破	3	3	セットアップ ^o	至近	自身	自動	80%	
効果：1R1回まで使用できるエフェクトを2回まで使える。シナリオLv回。								
エンジェルヴォイス	3	4	×ジャー	視界	単体	自動		
効果：次のメジャーC値-1（下限6）、判定D+Lv個。								
風の渡し手 *	3	3	×ジャー					
効果：対象：[Lv+1]体化。《シルフの詩》効果でシーン2回。								
シルフの詩 *	1	2	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果：《風の渡し手》のシーン間使用回数+1。1R1回。								
援護の風 □□	5	2	オート	視界	単体	自動	2	
効果：判定D+Lv個。1R1回。								
ウィンドブレス □□	3	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果：達成値+[Lv*3]。								
力の霊水	3	4	オート				80↑	
効果：対象のダメージロール時+LvD、1R1回。								
覚醒の秘薬	1	2d10	仁シア	単体	視界	自動	120↑	
効果：対象再行動。シナリオ1回。								
波紋の方陣	5	3	オート				80↑	
効果：対象が受ける予定のダメージを-[LV+1]D。自身不可・1R1回。								
蜂須賀：勝利の女神	3	4+2	オート					
効果：								

記憶もないほど幼いころ（1-2歳ごろ）に人間の両親に捨てられ、そこを土蜘蛛の半妖に拾われ育てられた”人間”。

半妖衆に在るものの、今はまだ人間のままである。

10年ほどそこで育ち、紆余曲折あった今は荒瀧衆に身を置いている。

砂霰衆から荒瀧衆へ移された理由を当人は分かっていない。

衆長同士で合意はしているとのこと。けど、きっとそのことすら知らない。

それでもずっと、今でもずっと肌身離さず硝子玉を身に着けている。彼女にとっては大事な思い出の品。

黄蛛といつか再会できることを願いながら日々を過ごしている。

彼女にとって、砂霰黄蛛は父であり、師でもある。

天涯孤独であるはずだった自分を抱え上げてくれた、かけがえのない存在。

遠くから風に乗って漂う葉巻の香りも、

炉と向き合いながら硝子細工を作る最中の横顔も、

ひとにとっては長い時を経た今でさえ、鮮明に思い出せる。

↑書いといてなんですが、黄蛛さん優しくそうだから幼い子供がいるときは葉巻吸ってないかも。その場合はフレーバーとして読んでください。

あとは硝子細工工房（炉の近く？）に立ち入る許可が降りてる前提の文章を書きましたが、立ち入り禁止だったらどうしよう。

でも絶対見に行っています。だって超のつくレベルのババっ子ですよ？大好きなババについて行かないわけないでしょう。

荒瀧派に在る現在では成長したのと氣を遣うのとでちょっと遠慮がちですが、懐いた好きな相手とはなるべく一緒にいることを選ぶ人です。半妖の彼/彼女らと自分に流れる時間が違うことも分かっているしね。

キャラクター名
紗鷺（さおう）

プレイヤー名 _____

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

[illegible][illegible][illegible]